

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第10報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：1月15日 10:30～12:10（検鏡11:30～12:10）

天 候：晴れ

調査員：谷川支所養殖組合（阿部弘幸，米倉和久，伊藤敏行）

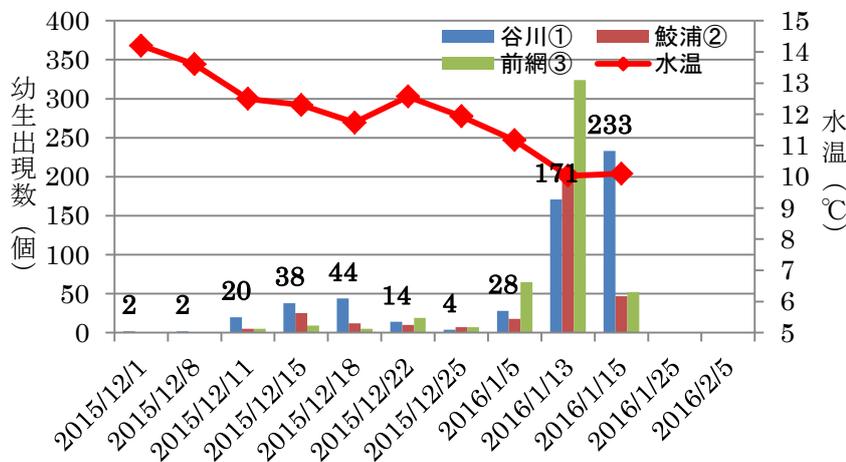
【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は10.0～10.2℃と前回並みで、例年（H23～25年度）と比べて水温の低下が遅れております。
2. マボヤ幼生の出現数は、幼生・胚合わせて47～233個でした。谷川では増加，鮫浦・前網では減少となりました。
3. 谷川ではマボヤ以外のホヤの幼生が多く見られました。

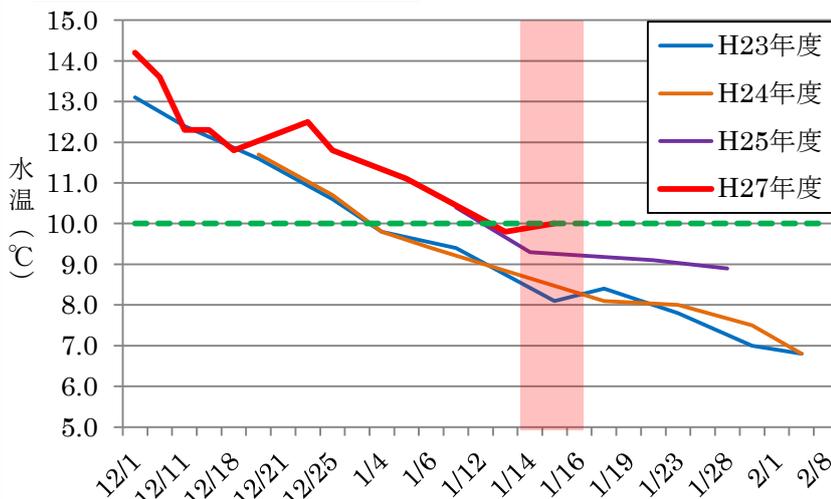
調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	10.0	20	5	228	233	その他ホヤ幼生219
2 鮫浦	10.1	15	3	44	47	その他ホヤ幼生34
3 前網	10.2	15	3	49	52	その他ホヤ幼生36

※プランクトンネットは鉛直曳き2回

◆ホヤ浮遊幼生出現数推移



◆谷川における水温の推移



① 調査風景（ネット曳網）



② 採取したサンプル



③ 検鏡風景

